

令和8年度 総合的な学習の時間 全体計画 江戸川区立平井小学校

校長名 渡邊 法子

名称:総合的な学習の時間

学校の教育目標	やりぬく平井の子 ○やりぬく心 ○やりぬく体 * 考える子・心豊かな子・元気な子の育成を具体的目標とする。
----------------	--

国が示す総合的な学習の時間の目標
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解できるようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>

学校の総合的な学習の時間の目標
<p>1 各教科で習得した知識及び技能を活用するとともに、探求の過程を通して新たな知識を獲得することができるようにする。</p> <p>2 課題を解決するために、習得している知識及び技能を課題や状況に応じて選択したり、適用したり、組み合わせたりして活用できるようにする。探求のプロセスを通して児童自ら、考え、判断し、表現する力を身に付けることができるようにする。</p> <p>3 自らが設定した課題の解決に向け、自ら計画を立てたり、解決方法を考えたりして主体的・協働的に取り組むことができるようにする。</p>

育てようとする資質や能力及び態度	
知識及び技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・多様性 ・有限性 	<ul style="list-style-type: none"> ・多様性 ・相互性
思考力、判断力、表現力等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・問題状況の中から課題を発見し、設定する ・手段を選択し、情報を収集する ・相手や目的に応じて、分かりやすくまとめ、表現する 	<ul style="list-style-type: none"> ・解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる ・必要な情報を収集し分析する ・課題解決を目指して事象を比較したり、関連付けたりして考える
学びに向かう力、人間性等	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定し、課題の解決に向けて行動する ・異なる意見や他者の考えを受け入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の将来を考え、夢や希望をもつ ・他者と協同して課題を解決する

内容	学習対象	学習事項
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> ○私たちの町、再発見 ○平井小グリーン大作戦 ○パラリンピックについて調べよう【平井ルミナル】 	自分たちの町を見直し、身近なところにも発見があることに気付く。学校生活の中から課題を見付け、よりよい環境について考える。パラリンピックについて調べ共生についての見方・考え方を広げる。
第4学年	<ul style="list-style-type: none"> ○荒川探検隊 ○大人になるっていいね ○気持ちを考えよう【平井ルミナル】 	身近な自然環境と諸問題について考える。浄水場や埋め立て地の工夫について理解するために、課題解決の方法を選択する。気持ちを表現する活動を通して、自己や他者の感じ方の違いを理解する心
第5学年	<ul style="list-style-type: none"> ○お米博士になろう ○自分について考えよう【平井ルミナル】 ○ウィンタースクール 	SDGsについて知り、自分たちができることを考える。自分自身と向き合うことを通して未来を考える。雪国の暮らしについて調べてまとめる活動を通して日本の国土と文化について考える。
第6学年	<ul style="list-style-type: none"> ○日光移動教室 ○将来について考えよう【平井ルミナル】 ○もうすぐ卒業 	世界遺産「日光」について調べ、伝える活動を通して日本や他国の文化について考える。様々な働き方や生き方に関する調査活動を通して自分を見つめ直す態度を6年間の学校生活を振り返り、今後の自己の生き方について考える。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> ○3年生は地域の自然や暮らし、4年生は地域の自然や暮らし ○5年生は日本の国土と文化、6年生は国際理解を主なテーマとする。 ○単元は学年で開発し、各学年年間3単元程度とする ○全学年、年間を通してキャリアパスポートを活用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○教科との関連的な指導を重視する。 ○協働的な学習活動の充実を図る。 ○対話を中心とした個別支援の徹底を図る。 ○読書科との関連を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○担任以外の教職員による支援体制を確立する。 ○平井ルミナルとの交流を軸に4年間で学習を深めていく。 ○地域の人々や保護者の参加や交流を積極的に取り入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアパスポートを活用した評価の充実 ・観点別学習状況を把握するための評価規準の設定 ・個人内評価の重視 ・指導と評価の一体化の充実 ・学期末、学年末における指導計画の評価の実施 ・授業分析による学習指導の評価の重視 ・学校運営協議会における評価の実施